

体育の創意工夫や関心を高める食育で主体性を伸ばしてきた授業。



3年間の研究成果発表

市場小が県重点課題で体育・食育を研究

平成27年度から3年間に渡り、福岡県の重点課題である「体力向上に向けた効果的な取り組み」の研究を指定委嘱された市場小が、11月2日に最終報告会を開きました。体育と食育の環境や活動、授業づくりを通じた研究成果が発表され、県内から約200人の教職員が参加。「体力向上に向けて主体的に取り組む子どもの育成」をテーマに、運動や食育に関する授業が公開され、子どもたち自らが率先して体力づくりに取り組むように成長した3年間の過程や日常の姿も伝えられました。



児童への事前アンケート結果をもとに、3年1組で行われた公開授業。参加した34人の栄養教諭が教室を囲み、熱心にメモを取っていました。

県給食コンクール最高賞

田川地区代表で三浦調理員が県知事賞



後日贈呈された受賞献立のレプリカを手に、喜びをかみしめる三浦俊祐調理員。

福岡県教育委員会主催の学校給食料理コンクールが、10月17日に筑紫野市で開かれ、田川地区代表で参加した三浦俊祐調理員（金田中）が最優秀賞を受賞しました。調理技術、味、栄養など7項目の審査に28校が参加。独自の献立やアイデアと技術を1食280円程度（中学校）、40分の制限内で腕を競いました。福智町初となる県知事賞に輝いた献立は「サクサクアジフライ・ミニトマトソース、小松菜のゆず胡椒^{こしょう}サラダ、洋風すいとん、梨のソーダゼリー」。福智産にこだわった栄養と味のバランスの高さが、最高の評価を獲得しました。

朝ごはんの大切さ実感

伊方小で澤村栄養教諭が公開授業

筑豊地区11市町村の栄養教諭を対象とした研修会が、10月19日に伊方小で開かれました。「朝ごはんの大切さを知ろう」の題材で、福智町の澤村真奈美栄養教諭が食育授業を公開。家庭でのふりかえりや例を示しながら、子どもたちの関心や意欲を高め、生活リズムの見直しにつなげました。